

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

コープおおさか病院
臨床研修施設群

歯科医師臨床研修プログラム

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

目次

はじめに

1. 臨床研修プログラムの名称
2. プログラムの特色と臨床研修の目標
3. 研修プログラム責任者と参加施設の概要
4. 研修管理委員会の名称及び研修歯科医の指導体制
5. 研修歯科医師定員及び募集方法
6. プログラムの期間とカリキュラム
7. 教育に関する行事
8. 研修歯科医師の評価
9. 到達目標の達成に必要な症例数と研修内容（研修歯科医の指導体制）及び修了判定の評価を行う項目と基準
10. プログラム修了の認定
11. プログラム修了後のコース
12. 研修歯科医師の処遇
13. 資料請求先

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

はじめに

コープおおさか病院臨床研修施設群における卒後臨床研修は、一般歯科医療において必要な基本的知識と技能を修得するとともに、歯科臨床における歯科医師と患者、歯科医師と他の医療従事者との人間関係のあり方、医の倫理についてさらに理解を深め、総合的な視野に立ち、真に国民の期待に充分応えうる全人的な質の高い歯科医師の基礎の形成を目標にしています。

コープおおさか病院臨床研修施設群は5つの事業所からなり、地域に密着した歯科医療を提供しています。

外来、訪問診療の分野では「安全・安心・信頼」の歯科医療を提供することで住民の高い評価を得ることはもちろん、インプラント・矯正などの自費診療の分野でも先進医療を提供する体制の充実と整備により医療の質向上を目指し日々研鑽しています。また、「患者の人権を守る」無差別平等の歯科医療に取り組み、周辺地域の患者様のみならず広域の患者様からも高い評価を得ていることは当院の誇るべき点です。

今後は生活習慣病をはじめ予防医学の重要性が増しますが、その一翼として口腔衛生はポイントであり、視野の広い歯科医師が求められています。日進月歩の歯科医療の中で、教育研修の果たす役割は極めて大きい事は言うまでもありません。豊富な経験と高い教育理念を持つ歯科医師・歯科衛生士を有し、「人権を守る歯科医療」、「医科歯科連携」、「チーム医療」を実践する当院で研修を希望される歯科医師は素晴らしいスタートをされると確信しております。

多大な技術・知識の獲得と同時に尊敬される歯科医師人生を目指し、自主的・積極的に研修に取り組まれることを期待しています。

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

1. 臨床研修プログラムの名称

「コープおおさか病院 臨床研修施設群 歯科医師臨床研修プログラム」

2. プログラムの特色と臨床研修の目標

特色

生活協同ヘルスコープおおさかの品質方針

基本理念

「私たちは、住民のいのちとくらしをまもり、みんなで支え合い、笑顔あふれる健康なまちづくりをすすめます。」

【6つの行動指針】

わたしたちは、基本理念を達成するために患者利用者の満足度を高め、継続的な改善を行い、以下の6点を行動指針とし、日常不断に追求します。

- ①「地域まるごと健康づくり」で地域を元気にします
- ②患者利用者に寄り添い「安全」「安心」の保健・医療・介護サービスを提供します。
- ③医療・介護の事業と組合員が提携し協同の息づく地域包括ケアを進めます。
- ④住民の要求を基礎に出会い、ふれあい、支え合いのまちづくりをすすめます。
- ⑤平和とくらしを守り、人権が大切にされる社会実現に向け奮闘します。
- ⑥医療生協人の育成と働きがいある職場をつくります。

コープおおさか病院歯科とその臨床研修施設群は、生活協同組合ヘルスコープおおさかの診療所及び病院であり、上記の「生活協同組合ヘルスコープおおさかの品質方針」のもとに、患者の人権を大切に、安全・安心・信頼の医療をおこなう。

小児から高齢者、障害者まで様々な症例の患者が来院し、歯科訪問診療や歯科矯正にも取り組んでいるため、多種多様な治療法・処置法の研修ができ、診断・治療能力の向上を図ることができる。

臨床研修の目標

○研修目標

歯科医師臨床研修は、歯科医師として必要最小限の能力を身につける期間である。当臨床研修施設群は、医療福祉生活協同組合連合会という地域住民の主体的参加によって運営されている事業体でおこなわれる。したがって、医福連の諸活動には積極的に参加し、地域住民の思いやニーズを直接感じていただきたいと考える。

当臨床研修施設群は、全ての歯科臨床医に求められる、基本的な診療に必要な知識・技能・態度を身につけ、病める人の全体像をとらえることのできる全人的な医療の習得及び、厚生労働省指針の「歯科医師臨床研修の到達目標」に到達することを目標とする。

○到達目標

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

「基本習熟コース」については、研修歯科医自らが確実に実践できることとする。

「基本習得コース」については、頻度が高い臨床において経験することとする。

3. 研修プログラム責任者と参加施設の概要

研修プログラム責任者

結城 徳之（コープおおさか病院 医長）

第6回（平成27年開催）北海道大学病院指導歯科医講習会受講済み

研修プログラム参加施設とその概要

本プログラムはコープおおさか病院歯科を管理型研修施設とし、下記のように協力型研修施設・研修協力施設に参加いただき、研修目標の達成を目指す。

【管理型研修施設】

施設名 コープおおさか病院歯科

〒538-0053 大阪府大阪市鶴見区鶴見 3-6-24

電話：06-6914-1107 FAX：06-6914-1109

指導歯科医 結城 徳之（コープおおさか病院 医長）

第6回（平成27年開催）北海道大学病院指導歯科医講習会受講済み

【協力型研修施設】

施設名 生協森の宮歯科

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 1-10-35

電話：06-6975-0841 FAX：06-6975-0843

指導歯科医 池田 善一（生協森の宮歯科 所長）

第6回（平成27年開催）北海道大学病院指導歯科医講習会受講済み

施設名 耳原歯科診療所

〒590-0808 大阪府堺市堺区旭ヶ丘中町 2丁 1-7

電話：072-245-2912 FAX：072-245-5732

指導歯科医 橋本 祐介（耳原歯科診療所 所長）

厚生労働省・財団法人歯科医療研修振興財団及び大阪歯科大学主催

平成19年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会受講済み

【研修協力施設】

施設名 せいきょう三丁目歯科

〒536-016 大阪府大阪市城東区蒲生 3-15-12

電話：06-6936-8241 FAX：06-6936-1182

研修実施責任者（指導担当者兼任）辻 良典（せいきょう三丁目歯科所長）

施設名 田島診療所歯科

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

〒544-0023 大阪府大阪市生野区林寺 5-12-18

電話:06-6717-8241 F A X :06-6711-8249

研修実施責任者(指導担当者兼任) 戸井 逸美(田島診療所歯科所長)

4. 研修管理委員会の名称及び研修歯科医の指導体制

研修管理委員会の名称及び管理運営体制

「コープおおさか病院 歯科臨床研修施設群研修管理委員会」

委員長 結城 徳之 (コープおおさか病院医長、プログラム責任者、指導歯科医)

構成員 池田 善一 (生協森の宮歯科所長、研修実施責任者、指導歯科医)

橋本 祐介 (耳原歯科診療所所長、研修実施責任者、指導歯科医)

辻 良典 (せいきょう三丁目歯科所長、研修実施責任者)

戸井 逸美 (田島診療所歯科所長、研修実施責任者)

向井 明彦 (コープおおさか病院院長、指導医)

狭間 直美 (コープおおさか病院歯科歯科衛生士長)

山下 泰延 (コープおおさか病院歯科技工士主任)

原田 直子 (コープおおさか病院事務長)

吉村 幸治 (生活協同組合ヘルスコープおおさか歯科部統括事務長)

南端 理伸 (たいしょう生協診療所歯科所長 外部委員)

下山 安津子 (淡路歯科診療所所長 外部委員)

研修歯科医の指導体制

①研修管理委員会

研修歯科医の採用および臨床研修全般の管理運営、プログラムの管理、研修歯科医の管理と研修状況の評価(中断・修了時の手続・研修修了判定の評価を含む)、指導歯科医等の管理・指導、臨床研修の改善について調査研究などをおこなう。

②プログラム責任者の役割

プログラム責任者は、1年間を通じて、個々の研修歯科医の指導・管理(研修協力施設、協力型臨床研修施設間の調整など)を担当する。プログラム責任者は、指導歯科医と密接な連携をとり、研修歯科医の目標到達状況を適宜把握し、研修歯科医が修了時までには到達目標を全て達成できるように調整をおこなうとともに、研修管理委員会にその状況を報告する。

プログラム責任者の他にプログラム副責任者を配置する。副プログラム責任者はプログラム責任者を補助するとともに、1年間にわたって研修歯科医の研修状況を把握するとともに、相談等に応じる。

③指導歯科医の役割

指導歯科医は、担当する診療チームでの研修期間中、診療行為も含めて指導をおこない、適

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

宜目標達成状況を把握する。

④指導歯科医以外の歯科医師の役割

上級歯科医師は、プログラム責任者・副責任者及び指導歯科医の指示に従い、担当する診療チームでの研修期間中、研修歯科医の診療行為の指導をおこない、プログラム責任者・副責任者及び指導歯科医に適宜目標達成状況を報告し、研修歯科医の到達目標の習得を助ける。

⑤指導体制

研修歯科医は指導歯科医の直接指導の下で研修をおこなう、あるいは指導歯科医の指導の下で、指導歯科医以外の歯科医（いわゆる上級歯科医）とともに診療チームを形成して研修をおこなう。

5. 研修歯科医定員及び募集方法

研修歯科医定員 1名

募集方法 マッチングプログラムによる公募でおこない、「面接・小論文・適正検査」により採用者を選考する。

6. プログラムの期間とカリキュラム

1) 研修期間

4月1日から3月31日までとする。

研修期間Ⅰ（生活協同組合ヘルスコープおおさか歯科群での研修）

①4月～7月の4ヶ月間はコープおおさか病院歯科にて研修をおこなう

②上記①の内、2週間はコープおおさか病院、せいきょう三丁目歯科、田島診療所歯科にて研修をおこなう

③8月～3月の8ヶ月間は生協森の宮歯科にて研修をおこなう

研修期間Ⅱ（耳原歯科診療所を含む研修）

①4月～7月の4ヶ月間はコープおおさか病院歯科にて研修をおこなう

②上記①の内、2週間はコープおおさか病院、せいきょう三丁目歯科、田島診療所歯科にて研修をおこなう

③8月～3月の8ヶ月間は耳原歯科診療所にて研修をおこなう

2) 研修カリキュラム(別紙資料)

3) 研修方法

- ・本研修カリキュラムに沿って、厚生労働省の示した基本習熟コース及び基本習得コースにおける行動目標の習得に努める。
- ・指導歯科医の指導のもとで、治療計画を立案する。
- ・指導歯科医の判断により、割り当て患者以外の症例において、治療の一部を担当した場合でも

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

当該項目について研修実績として認める。

- ・研修歯科医は、できるだけその日の内に研修内容を報告書に記載する。

4) 指導体制

- ・研修歯科医毎に1名の指導歯科医を割り当て、その指導歯科医が当該研修歯科医の患者割り当て、治療計画の立案に関する指導を担当する。

5) 到達目標の臨床研修を行なう。

「基本習熟コース」

1-1 医療面接	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所、せいきょう三丁目歯科、田島診療所歯科
1-2 総合診療計画	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
1-3 予防・治療基本技術	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
1-4 応急処置	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
1-5 高頻度治療	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
1-6 医療管理・地域医療	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所

「基本習得コース」

2-1 救急処置	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
2-2 医療安全・感染予防	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
2-3 経過評価管理	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
2-4 予防・治療技術	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
2-5 医療管理	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
2-6 地域医療	せいきょう三丁目歯科、田島診療所歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所

「その他」

3-1 矯正治療	生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
3-2 口腔外科	コープおおさか病院歯科、生協森の宮歯科、耳原歯科診療所
3-3 全身管理	コープおおさか病院

歯科群での研修期間は原則1年間とする。地域医療研修は歯科診療所での在宅歯科医療の研修、地域集会における成人を対象とした口腔にかかわる健康指導、保育園での乳幼児健診や講話を経験する。全身管理の研修では、コープおおさか病院の、オペ室、ICU等の見学、病棟における入院患者の口腔ケア、NSTを経験する。

7. 教育に関する行事

勉強会・症例検討会

月1回木曜日の午後に実施

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

後援会・学会等

適宜参加をし、報告会を実施する

8. 研修歯科医師の評価

4ヶ月に1回、研修管理委員会を開催し、研修歯科医の研修内容の目標到達度について評価をおこない、研修プログラムの見直しを随時おこなう。評価表（別紙資料）について、下記のA～Eの5段階での評価をおこなう。

A：確実にできる

B：できる

C：ある程度できる

D：あまりできない

E：ほとんどできない

②毎月の医局会議で研修到達を報告し評価を行なう。

9. 到達目標の達成に必要な症例数と研修内容(研修歯科医の指導体制)及び修了判定の評価を行う項目と基準

研修歯科医の評価を行うにあたり、到達目標達成に必要な症例数と研修内容、研修歯科医の指導体制、修了判定の評価を行う項目と基準を下記とする。

※別添「プログラム症例数」を参照

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

10. プログラム修了の認定

研修医手帳をもとに各研修内容について習得したことを研修管理委員会にて評価し、病院長へ報告する。病院長が研修修了と認定した者には研修修了証を交付する。

11. プログラム修了後のコース

当生活協同組合ヘルスコープおおさかの歯科で引き続き研修を希望する歯科医師は採用面接を受けることができる。

12. 研修歯科医の処遇

身分 : 常勤職員

給与 : 基本給 131,000円/月

諸手当 : 通勤手当 (通勤にかかる費用の実費)
 時間外割増手当 (基本給の2割5分増)
 休日割増手当 (基本給の3割5分増)
 深夜割増手当 (基本給の2割5分増)
 賞与無し
 退職金無し

社会保険 : 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険有り

宿舍 : 医師住宅なし (家賃の内月額7,000円を補助)

勤務時間 : 日勤の場合、9:00始業～17:00終業 (休憩60分)
 夜勤の場合、13:00始業～21:00終業 (休憩60分)

時間外勤務の有無 : 有り

当直勤務の有無 : 無し

休暇 : 日曜日及び祝日及び年末年始 (12月30日～1月4日)
 年次有給休暇 (6ヶ月継続勤務した場合10日/年)
 その他の有給休暇 (慶弔休暇・夏期休暇・生理休暇・産前産後休暇)

施設内の室 : あり

健康管理 : 健康診断年2回実施 採用時検診有り

賠償保険 : 歯科医師賠償責任保険に歯科事業所として加入

外部研修 : 原則として有給休暇を使用しての参加は可。ただし費用は個人負担

13. 資料請求先

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道1-10-35

生協森の宮歯科 吉村 幸治

電話 : 06-6975-0841 FAX : 06-6975-0843

Eメールアドレス : k-yoshimura@health-coop.jp

ホームページ : <http://www.health-coop.jp/>

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

コープおおさか病院歯科臨床研修施設群研修カリキュラム

I 歯科医師臨床研修の概要

歯科医師臨床研修の目標は、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度、技能及び知識）を身に付け、生涯研修の第一歩とすることである。また、超高齢社会に向けた歯科医師の役割、地域住民のニーズに基づく医療活動内容を理解することにある。

II 歯科医師臨床研修のねらい

患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度・技能及び知識）を身に付け、生涯研修の第一歩とすることを目指す。

- ① 歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び患者家族とのより良い人間関係を確立する。
- ② 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- ③ 歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身に付ける。
- ④ 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- ⑤ 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
- ⑥ 自らおこなった処置の経過を観察・評価し、常に診断と治療にフィードバックする態度・習慣を身につける。
- ⑦ 専門的知識や高度先進歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
- ⑧ 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

III 到達目標

「基本習熟コース」については、研修歯科医自らが確実に実践できることが基本であり、臨床研修修了後に習熟すべき「基本習得コース」については、頻度高く臨床において経験することが望ましいものである。

1. 病院研修コース

【一般目標】

病棟医療において、医学・医療の社会的ニーズを認識するとともに、看護師・薬剤師等々で構成される医療チームの一員として、全人的な医療を体感する。

【行動目標】

- ①病棟医療において、医療面接をおこなう。
- ②ケースカンファレンスに参加する。
- ③医療チームの一員として、入院症例の経過観察をおこなう。

2. 歯科医師臨床研修「基本習熟コース」

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

《一般目標》

個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

(1) 医療面接

【一般目標】

患者中心の歯科医療を実践するために、医療面接についての知識・態度及び技能を身に付け、実践する。

【行動目標】

- ① コミュニケーションスキルを実践する。
- ② 病歴（主訴、現病歴、既往症及び家族歴）聴取を的確におこなう。
- ③ 病歴を正確に記録する。
- ④ 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- ⑤ 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- ⑥ 患者の自己決定権を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）
- ⑦ 患者のプライバシーを守る。
- ⑧ 患者の心身におけるQOL（Quality of Life）に配慮する。
- ⑨ 患者教育と治療への動機付けをおこなう。

(2) 総合診療計画

【一般目標】

効果的で効率の良い歯科医療をおこなうために、総合診療計画の立案に必要な能力を身に付ける。

【行動目標】

- ① 適切で十分な医療情報を提供する。
- ② 基本的な診察・検査を実践し、判断する。
- ③ 得られた情報から診断する。
- ④ 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- ⑤ 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- ⑥ 一口腔単位の治療計画を作成する。

(3) 予防・治療基本技術

【一般目標】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

【行動目標】

- ① 基本的な予防法の手技を実施する。
- ② 基本的な治療法の手技を実施する。

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

③医療記録を適切に作成し、管理する。

(4) 応急処置

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ①疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- ②歯や口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ③修復物や補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

(5) 高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ①う蝕の基本的な治療を実践する。
- ②歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- ③歯周疾患の基本的な処置を実践する。
- ④抜歯の基本的な処置を実践する。
- ⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

(6) 医療管理・地域医療

【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。

【行動目標】

- ①保険診療を実践する。
- ②チーム医療を実践する。
- ③地域医療に参画する。

3. 歯科医師臨床研修「基本習得コース」

《一般目標》

生涯にわたる研修をおこなうために、より広範囲の歯科医療について、知識・態度及び技能を習得する態度を養う。

(1) 救急処置

【一般目標】

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

歯科診療を安全におこなうために、必要な救急処置に関する知識・態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ①バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- ②服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- ③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- ④歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- ⑤一次救命処置を実践する。
- ⑥二次救命処置の対処法を説明する。

(2) 医療安全・感染予防

【一般目標】

円滑な歯科診療を実践するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識・態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ①医療安全対策を説明する。
- ②アクシデント及びインシデントを説明する。
- ③医療過誤について説明する。
- ④院内感染対策（Standard Precautionsを含む）を説明する。
- ⑤院内感染対策を実践する。

(3) 経過評価管理

【一般目標】

自らおこなった治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識・態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ①リコールシステムの重要性を説明する。
- ②治療の結果を評価する。
- ③予後を推測する。

(4) 予防・治療技術

【一般目標】

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

【行動目標】

- ①専門的な分野の情報を収集する。
- ②専門的な分野を体験する。
- ③POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。
- ④EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。

コープおおさか病院 臨床研修施設群		
歯科医師臨床研修プログラム	最終改定日	2016.06.1
	作成	歯科部

(5) 医療管理

【一般目標】

適切な歯科診療をおこなうために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

【行動目標】

- ①歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ②常に、必要に応じた医療情報の収集をおこなう。
- ③適切な放射線管理を実践する。
- ④医療廃棄物を適切に処理する。

(6) 地域医療

【一般目標】

歯科診療を適切におこなうために、地域医療についての知識・態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- ①地域歯科保健活動を説明する。
- ②歯科訪問診療を説明する。
- ③歯科訪問診療を体験する。
- ④医療連携を説明する。

以上

[改定管理表]

改定番号	改定年月日	改定内容	作成者	承認者・印
1	2016.06.01	・新規作成	歯科部 統括事務長	歯科部長